

訃聞にみる台湾漢族の親族観念の変遷

上水流久彦(県立広島大学)

「訃聞(fuwen)」とは主に遺族が出す葬儀・告別式の案内通知である。19世紀末に中国本土で調査をしたデ・ホロートは訃聞に掲載される範疇について、「中国ではたくさんの男性子孫を持つことは尊ばれるので、訃聞に多くの名前が記されることは死者に荣誉を与える」「女性の名は訃聞には決して掲載されない(De Groot 1989: 112)」と述べている。訃聞は父系概念と結びついた文字資料であった。だが、19世紀末から1980年までの台湾の新聞に掲載された訃聞を見ると、戦前には見られなかった個人の女性子孫の掲載率が戦後の訃聞では非常に高い。

例えば、植民地期の台湾、女性の名前を訃聞にほとんど見ることはできなかった。娘がいるにも拘わらず、娘ではなく娘婿が掲載される訃聞も多い。日本植民地時代の1896年から1945年で調べることができた訃聞(421件)を10年ごとに、息子と娘の掲載率に注目して分析すると、全体的な傾向として息子が娘の20倍以上近く掲載されており、娘が掲載されることがほとんどない。息子の掲載率は第2期(1906-1915)から第3期(1916-1925)が70%を超え、第5期(1936-1945)で半分程度となる(これは戦死者のための葬儀委員会の訃聞の件数が全体で多くなるためである。当時、戦死者複数名を彼らの居住地の市長等が葬儀委員長となり、葬儀を行った)。娘に関しては、第2期から見えるものの、掲載された8割が第5期であることがわかる。娘が掲載される件数が僅かだが、この時期に6%となっている。第5期に微増するもの、植民地期の訃聞に女性の名前を掲載しない点は、先のデ・ホロートの考えと一致する。

しかし、光復後の訃聞では娘らの女性遺族が多く掲載される。1951年~1980年2月掲載の訃聞(321件)に掲載された息子と娘の件数と比率を5年ごとに見てみると、全体的に見て、息子の掲載率がほぼ100%に近い。植民地期の訃聞では4%にも達しなかった娘の掲載率は7割以上で、約20倍である。それも第1期(1951-1955)より過半数を超えており、戦前の第5期と比べても、掲載率は10倍近くに急激に上昇している。この他、光復前全くなかった息子の妻が69.5%(第1期で約75%)も掲載されていることは、植民地期の訃聞との大きな違いである。この他、上位には、孫(65.1%)に加え、孫娘(56.4%)、外孫(24.9%)、外孫女(20.2%)など女性の親族が多くの訃聞に名前がある。また娘の夫も46.7%あり、第4期(1966-70)からは過半数を超える。

このように訃聞に掲載される範疇は光復前と後で差があり、訃聞が男性子孫を掲載するものから、故人を中心に男女問わず血縁と婚姻でつながっていく人々が掲載されるものに変わっている。この点は、台湾漢族社会が男性心的社会から脱却しつつある変化を示し、かつデ・ホロートの理解では説明できないものに訃聞がなっていることを明示する。

娘の訃聞への登場は娘も父系親族であることを考えると、父系制度を揺るがすようなものとも言える。だが、男性子孫とは異なり、父系出自集団の正式なメンバーシップがなく、自らが属する父系出自集団の存続に直接的に関与できず、いずれは外に出るものという娘が、訃聞が登場することは台湾の父系制度を考察するうえでも注目すべき点である。

このように述べると、訃聞に見える変化は台湾漢族社会における父系制度の崩壊と捉えることが可能であるが、その点はもう少し慎重に検討すべきである。男性子孫のみを掲載し、父系イデオロギーを示し、その制度を支えるものであった伝統的な族譜を除けば、男性子孫のみを記す文字資料を私は知らない。清朝時代の台湾で行われた故人が天堂に行くことを願うための儀式の文字資料でも娘などが記されている。また1980年前後から台湾に増える宗親会が発行する族譜では、息子だけでなく娘の情報も多く掲載されている。加えて、女性を媒介としてつながる重要性はいずれの時代でも確認できる。光復後、台湾漢族を研究したギャリンは経済的・政治的利益を獲得する資源として姻戚関係の重要性を指摘する。また台湾南部の親族関係を研究した植野は、ギャリンの指摘に加えて父・子関係を生み出す誕生儀礼や婚姻儀礼に姻戚関係で結ばれた者の参列や協力が不可欠であると述べる(植野 2000)。戦後の台湾漢族研究が指摘するこれらの点は、植民地期台湾の儀礼や訃聞でも確認できる。

男性のみを掲載する雰囲気は光復前の台湾にあったにしろ、戦後それが変わったにしろ、そのような状況が如何に生み出されたかを考察する必要がある。このようなアプローチは、漢族の親族観念の動態性を理解することを可能にするものであり、訃聞は台湾漢族社会の親族概念や親族組織、男女のあり方などを探る重要な手がかりとなる。

【台湾、親族変容、漢族、植民地支配、女性】